

第4節 中河内二次医療圏

1. 外来医療体制（全般）

（1）医療機関の設置状況

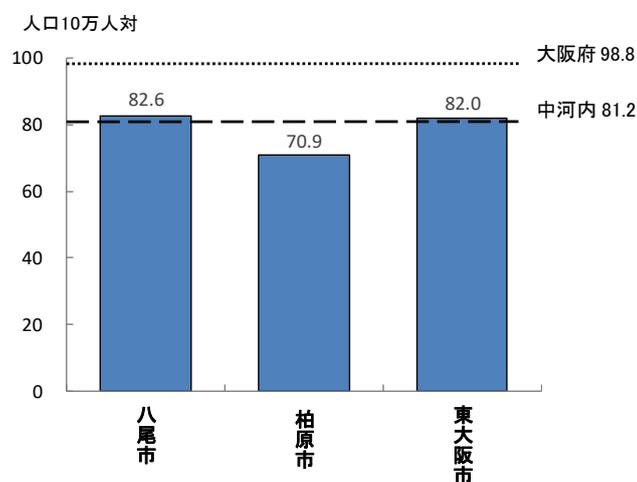
【外来医療機関数】

○令和3年10月1日現在、外来医療機関数は、一般診療所が664施設（平成30年には664施設）、病院が35施設（同38施設）となっており、一般診療所では人口10万人対でみると、大阪府平均を下回っています。

図表 3-4-1 外来医療機関数(令和3年)

市町村	一般診療所		病院		合計	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
八尾市	216	95.2%	11	4.8%	227	100%
柏原市	48	94.1%	3	5.9%	51	100%
東大阪市	400	95.0%	21	5.0%	421	100%
中河内	664	95.0%	35	5.0%	699	100%
大阪府	8,680	94.5%	509	5.5%	9,189	100%

図表 3-4-2 人口10万人対外来医療機関数【一般診療所】(令和3年)

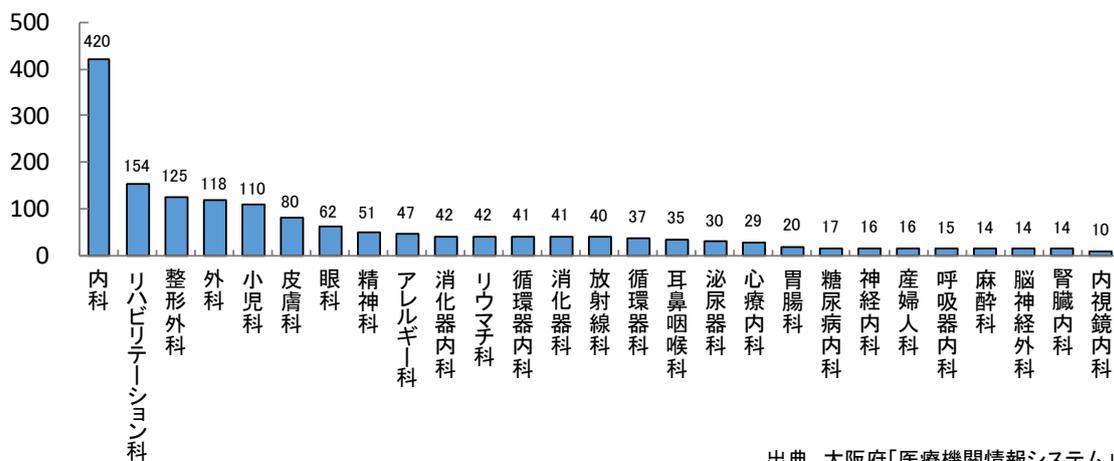


出典 厚生労働省「医療施設動態調査」
 ※「人口10万人対」算出に用いた人口は、大阪府総務部「大阪府の推計人口(令和4年10月1日現在)」

【診療科別の設置状況(一般診療所)】

○令和5年10月1日現在、一般診療所の診療科目の標榜状況をみると、「内科」が420施設（総数の63.3%）で最も多く、次いで、「リハビリテーション科」154施設（同23.2%）、「整形外科」125施設（同18.8%）となっています。

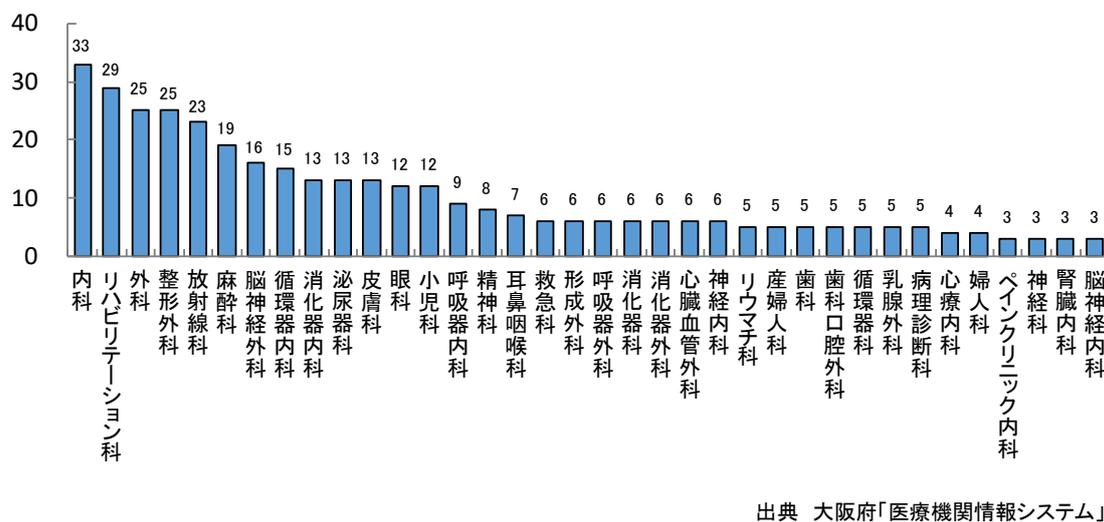
図表 3-4-3 診療科別の設置状況(標榜が10施設以上の診療科のみ)【一般診療所】(令和5年)



【診療科別の設置状況(病院)】

○令和5年10月1日現在、病院の診療科目の標榜状況をみると、「内科」が33施設(総数の94.3%)で最も多く、次いで、「リハビリテーション科」29施設(同82.9%)、「外科」25施設(同71.4%)となっています。

図表 3-4-4 診療科別の設置状況(標榜が3施設以上の診療科のみ)【病院】(令和5年)



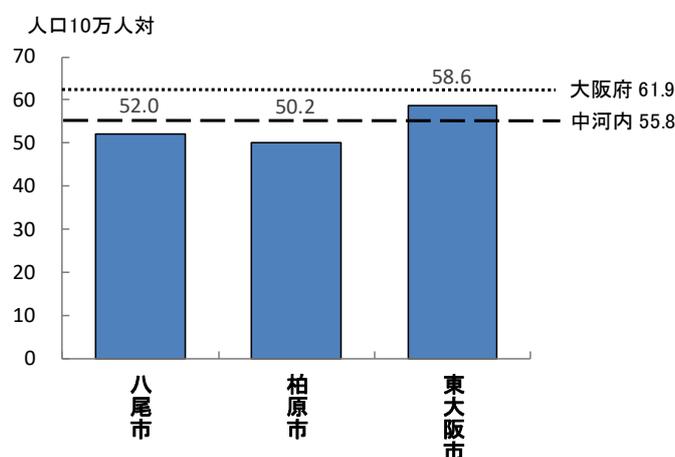
【歯科診療所数】

○令和3年10月1日現在、歯科診療所数は、456施設（平成30年には471施設）となっており、人口10万人対で見ると、大阪府平均を下回っています。

図表 3-4-5 歯科診療所数(令和3年)

市町村	歯科診療所
	施設数
八尾市	136
柏原市	34
東大阪市	286
中河内	456
大阪府	5,442

図表 3-4-6 人口10万人対歯科診療所数(令和3年)



出典 厚生労働省「医療施設動態調査」
 ※「人口10万人対」算出に用いた人口は、大阪府総務部「大阪府の推計人口(令和4年10月1日現在)」

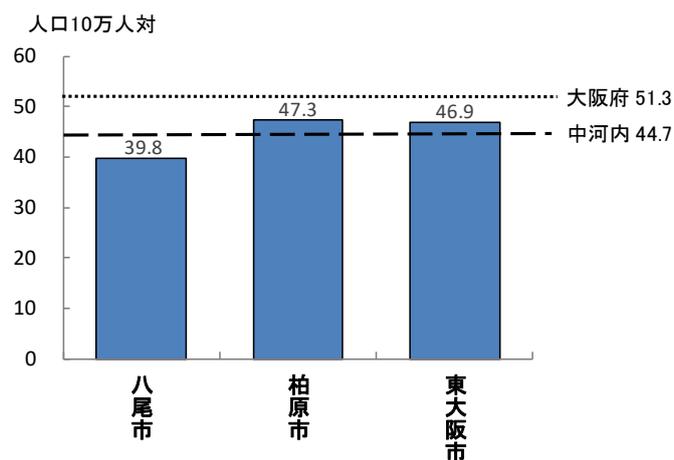
【薬局数】

○令和5年9月1日現在、薬局数は、365施設（令和元年には344施設）となっており、人口10万人対で見ると、大阪府平均を下回っています。

図表 3-4-7 薬局数(令和5年)

市町村	薬局
	施設数
八尾市	104
柏原市	32
東大阪市	229
中河内	365
大阪府	4,510

図表 3-4-8 人口10万人対薬局数(令和5年)



出典 近畿厚生局「保険医療機関・保険薬局等の管内指定状況等について」
 ※「人口10万人対」算出に用いた人口は、大阪府総務部「大阪府の推計人口(令和4年10月1日現在)」

【開設・廃止等の状況】

○令和元年10月から令和2年9月までの1年間における一般診療所の新規開設数は、20施設、廃止数は22施設、病院の新規開設数は0施設、廃止数は0施設となっています。

図表 3-4-9 開設・廃止等施設数(令和元年から令和2年)

市町村	一般診療所				病院			
	開設	廃止	休止	再開	開設	廃止	休止	再開
八尾市	6	6	3	2	0	0	0	0
柏原市	1	0	0	0	0	0	0	0
東大阪市	13	16	3	1	0	0	0	0
中河内	20	22	6	3	0	0	0	0
大阪府	348	285	86	24	5	6	1	1

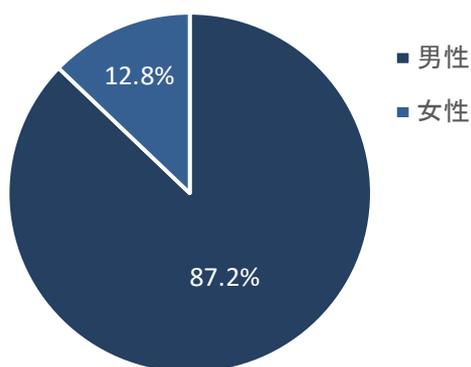
出典 厚生労働省「外来医師偏在指標に係るデータ集・グラフ」

(2) 外来に従事する医師

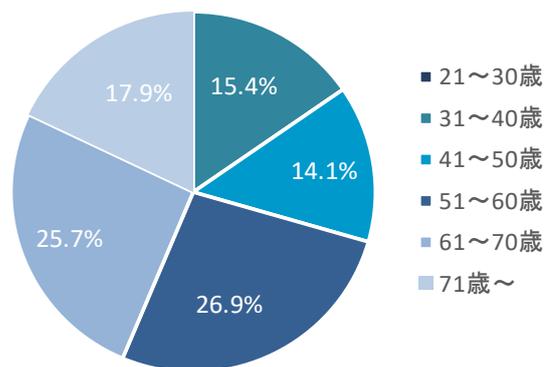
【性年齢別の医師の従事状況】

○令和5年7月1日現在、一般診療所における勤務医師の男女比は、男性87.2%、女性12.8%(令和元年には76.7%、23.3%)となっており、年齢別にみると51歳以上の医師の割合が70.5%(同86.1%)となっています。

図表 3-4-10 医師(常勤・非常勤)の従事状況の男女割合【一般診療所】(令和5年)

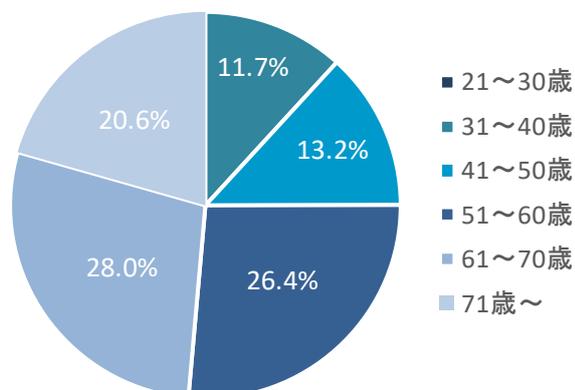


図表 3-4-11 医師(常勤・非常勤)の従事状況の年齢別割合【一般診療所】(令和5年)

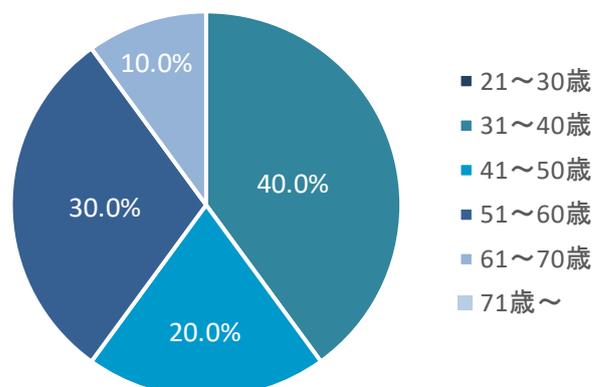


出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のための実態調査」

図表 3-4-12 男性医師(常勤・非常勤)の従事状況の年齢別割合【一般診療所】(令和5年)



図表 3-4-13 女性医師(常勤・非常勤)の従事状況の年齢別割合【一般診療所】(令和5年)

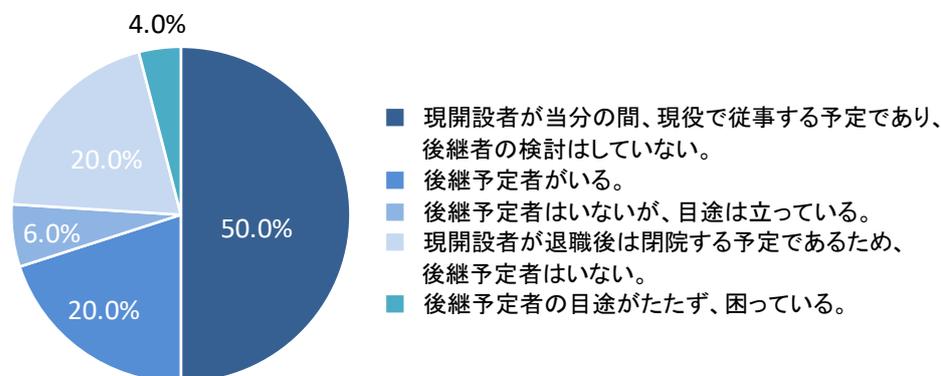


出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のための実態調査」

【一般診療所の後継者の状況】

○令和5年7月1日現在、後継予定者の目途が立たず困っている一般診療所は全体の4.0%（令和元年には11.1%）となっています。

図表 3-4-14 後継者の有無【一般診療所】(令和5年)



出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のための実態調査」

(3) 外来患者の受入れ状況

【外来患者延べ数】

○令和元年度における外来患者延べ数は、一般診療所が8,232,868人（平成29年度には7,870,464人）、病院が1,846,399人（同1,856,933人）となっています（出典 厚生労働省「外来医師偏在指標に係るデータ集・グラフ」）。

【1医療機関当たりの推計外来患者延べ数】

○令和5年5月の1か月間から推計した、1医療機関当たりの外来患者延べ数は、一般診療所が967.6人（令和元年には935.7人）、病院が6,872.3人（同6,376.6人）となっています（出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のための実態調査」）。

【外来での患者の待ち時間の状況】

○令和5年7月1日現在、患者一人当たりの待ち時間が平均60分を超えている医療施設の割合は、一般診療所が21.6%、病院が26.7%となっています（出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のための実態調査」）。

【紹介状の持参の有無と外来対応の負担感の状況】

○令和5年7月1日現在、紹介状を持参しない初診の外来患者が増えている病院は1施設（調査回答施設合計の12.5%）で、うち、外来対応を負担に感じる医師が多くなっていると回答した病院はありませんでした（出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のための実態調査」）。

（4）医療・介護施設等との連携

【一般診療所の医療・介護施設等との連携】

○令和5年10月1日現在、一般診療所において、病院との連携は全体の42.8%（令和元年には45.7%）、他の一般診療所との連携は23.6%（同23.5%）、歯科診療所との連携は7.5%（同4.7%）、薬局との連携は26.1%（同25.2%）、訪問看護ステーションとの連携は32.0%（同33.5%）、居宅介護支援事業所との連携は23.6%（同25.0%）となっています。

図表 3-4-15 連携機関の状況【一般診療所】(令和5年)

市町村	連携先機関												一般診療所	
	病院		一般診療所		歯科診療所		薬局		訪問看護ステーション		居宅介護支援事業所			
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	総数	割合
東大阪市	89	41.2%	48	22.2%	14	6.5%	51	23.6%	58	26.9%	41	19.0%	216	100%
八尾市	15	30.6%	8	16.3%	3	6.1%	11	22.4%	16	32.7%	8	16.3%	49	100%
柏原市	181	45.1%	101	25.2%	33	8.2%	112	27.9%	139	34.7%	108	26.9%	401	100%
中河内	285	42.8%	157	23.6%	50	7.5%	174	26.1%	213	32.0%	157	23.6%	666	100%
大阪府	3,928	43.7%	2,309	25.7%	760	8.5%	2,718	30.2%	2,949	32.8%	2,155	24.0%	8,989	100%

出典 大阪府「医療機関情報システム」

【病院の医療・介護施設等との連携】

○令和5年10月1日現在、病院において、他の病院との連携は全体の68.6%（令和元年には70.6%）、一般診療所との連携は60.0%（同61.8%）、歯科診療所との連携は34.3%（同14.7%）、薬局との連携は48.6%（同47.1%）、訪問看護ステーションとの連携は80.0%（同73.5%）、居宅介護支援事業所との連携は68.6%（同67.6%）となっています。

図表 3-4-16 連携機関の状況表【病院】(令和5年)

市町村	連携先機関												病院	
	病院		一般診療所		歯科診療所		薬局		訪問看護ステーション		居宅介護支援事業所			
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	総数	割合
東大阪市	8	72.7%	8	72.7%	5	45.5%	7	63.6%	9	81.8%	8	72.7%	11	100%
八尾市	1	33.3%	1	33.3%	0	0%	1	33.3%	2	66.7%	1	33.3%	3	100%
柏原市	15	71.4%	12	57.1%	7	33.3%	9	42.9%	17	81.0%	15	71.4%	21	100%
中河内	24	68.6%	21	60.0%	12	34.3%	17	48.6%	28	80.0%	24	68.6%	35	100%
大阪府	357	70.4%	338	66.7%	122	24.1%	264	52.1%	364	71.8%	345	68.0%	507	100%

出典 大阪府「医療機関情報システム」

2. 初期救急医療体制

(1) 休日・夜間急病診療所の設置状況

○令和5年9月1日現在、休日・夜間急病診療所は6施設となっています。

図表 3-4-17 休日・夜間急病診療所の設置状況（令和5年9月1日現在）

市町村	医療機関名	診療科目	診療受付時間	
八尾市	八尾市保健センター休日急病診療所	内科	平日	—
			土曜日	—
			休日	10:00～11:30 13:00～15:30 17:00～20:30
		小児科	平日	—
			土曜日	17:00～20:30
			休日	10:00～11:30 13:00～15:30 17:00～20:30
		歯科	平日	—
			土曜日	—
			休日	10:00～11:30 13:00～15:30
八尾市	八尾市立病院 (中河内小児初期救急広域事業)	小児科	平日(火のみ)	19:00～翌8:00
			土曜日	19:00～翌8:00
			休日	—
柏原市	市立柏原病院	内科・外科	木曜日(祝日除く)	17:00～翌8:45
			土曜日	13:00～翌8:45
			土曜日(祝日の場合)	9:00～翌8:45
			日曜日	9:00～翌8:45
		整形外科	木曜日(祝日除く)	17:00～翌8:45
			土曜日	—
			日曜日	—
		循環器内科	平日(火、水、木のみ) (祝日除く)	17:00～翌8:45
			土曜日	—
			日曜日	—
		小児科	木曜日(祝日除く)	17:00～19:30
			土曜日	—
日曜日	9:00～11:30			
東大阪市	東大阪休日急病診療所	内科	平日	—
			土曜日	18:00～20:30
			休日	10:00～11:30 13:00～16:30
		小児科	平日	—
			土曜日	18:00～20:30
			休日	10:00～11:30 13:00～16:30
		歯科	平日	—
			土曜日	—
			休日	10:00～11:30 13:00～16:30
東大阪市	市立東大阪医療センター (中河内小児初期救急広域事業)	小児科	平日 (水・金のみ)	18:30～翌8:30
			土曜日	—
			日曜日	18:30～翌8:30
東大阪市	河内総合病院 (中河内小児初期救急広域事業)	小児科	平日(木のみ)	19:00～翌8:00
			土曜日	—
			休日	—

出典 大阪府「医療機関情報システム」

【休日・夜間急病診療所への出務有無】

○令和5年7月1日から令和5年6月30日の1年間に、一般診療所で休日・夜間急病診療所への出務経験のある医師は25.0%となっています（出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のための実態調査」）。

（2）時間外等に診療を行う外来施設数

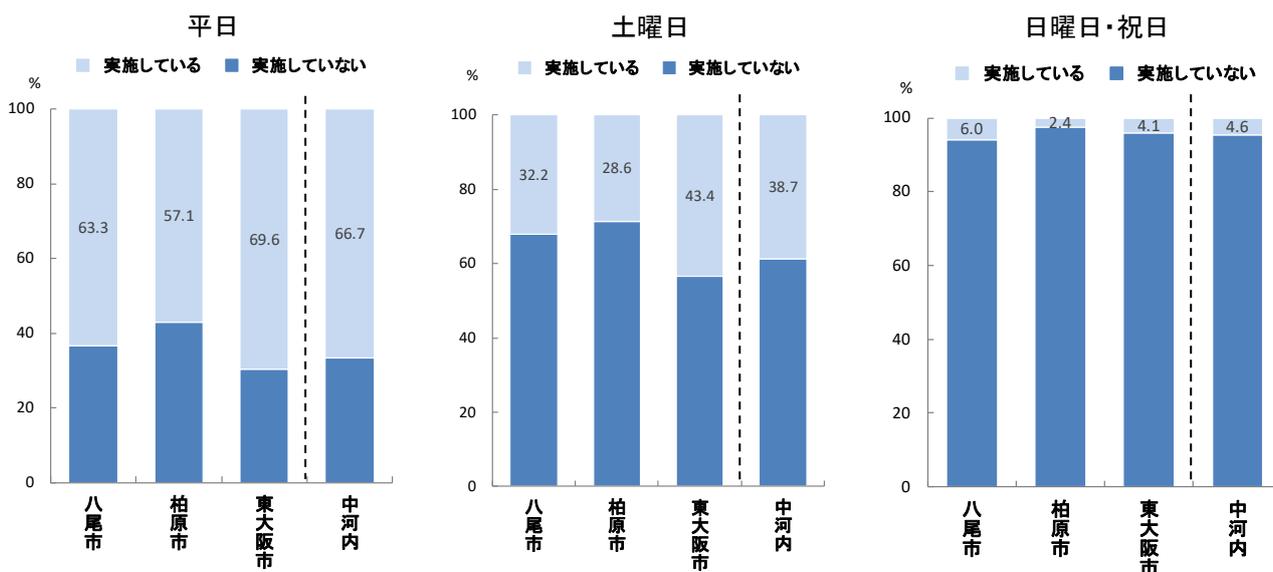
○令和5年7月1日現在、時間外^{注1}に診療している一般診療所は、平日において全体の66.7%（令和元年には71.2%）、土曜日において38.7%（同40.3%）、日曜・祝日において4.6%（同4.2%）となっています。

○夜間^{注2}に診療している一般診療所は、平日において全体の1.1%（令和元年には1.0%）、土曜日において0.3%（同0.0%）、日曜・祝日において0.3%（同0.0%）となっています。

図表 3-4-18 時間外等に診療を行う外来施設数【一般診療所】（令和5年）

市町村	平日（時間外）		平日（夜間）		土曜日（時間外）		土曜日（夜間）		日曜日・祝日（時間外）		日曜日・祝日（夜間）		一般診療所	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	総計	割合
八尾市	126	63.3%	4	2.0%	64	32.2%	1	0.5%	12	6.0%	1	0.5%	199	100%
柏原市	24	57.1%	0	0%	12	28.6%	0	0%	1	2.4%	0	0%	42	100%
東大阪市	257	69.6%	3	0.8%	160	43.4%	1	0.3%	15	4.1%	1	0.3%	369	100%
中河内	407	66.7%	7	1.1%	236	38.7%	2	0.3%	28	4.6%	2	0.3%	610	100%
大阪府	4,985	58.4%	96	1.1%	3,188	37.4%	47	0.6%	634	7.4%	32	0.4%	8,530	100%

図表 3-4-19 時間外診療の実施状況【一般診療所】（令和5年）



出典 大阪府「医療機関情報システム」

注1 時間外は平日の6時から8時及び18時から22時、土曜日の6時から8時及び12時から22時、日曜日・祝日の6時から22時。

注2 夜間は平日、土曜日、日曜日・祝日ともに22時から6時。

図表 3-4-20 時間外等に診療を行う外来施設数【病院】(令和5年)

市町村	平日(時間外)		平日(夜間)		土曜日(時間外)		土曜日(夜間)		日曜日・祝日(時間外)		日曜日・祝日(夜間)		病院	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	総計	割合
八尾市	5	45.5%	0	0%	2	18.2%	0	0%	0	0%	0	0%	11	100%
柏原市	1	33.3%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	3	100%
東大阪市	9	42.9%	0	0%	7	33.3%	0	0%	0	0%	0	0%	21	100%
中河内	15	42.9%	0	0%	9	25.7%	0	0%	0	0%	0	0%	35	100%
大阪府	168	33.5%	5	1.0%	137	27.3%	3	0.6%	12	2.4%	3	0.6%	501	100%

出典 大阪府「医療機関情報システム」

(3) 時間外等における外来患者数

【時間外等外来患者延べ数】

○令和元年度における時間外等外来患者延べ数は、一般診療所が517,510人(平成29年度には61,126人)、病院が70,813人(同68,591人)となっています(出典 厚生労働省「外来医師偏在指標に係るデータ集・グラフ」)。

【1医療機関当たり1日当たりの時間外等推計外来患者延べ数】

○令和5年5月の1か月間から推計した、1医療機関当たり1日当たりの時間外等患者延べ数は、診療所で5.1人(令和元年には1.0人)、病院で7.1人(同4.1人)となっています(出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のための実態調査」)。

3. 在宅医療提供体制

(1) 在宅医療に関する状況

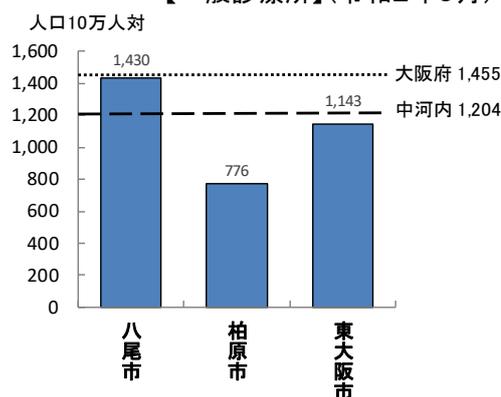
【訪問診療実施件数】

○令和2年9月の1か月間における訪問診療実施件数は、一般診療所が9,841件（平成29年には9,062件）、病院が1,640件（同1,472件）となっており、一般診療所では、人口10万人対でみると、大阪府平均を下回っています。

図表 3-4-21 訪問診療実施件数(令和2年9月)

市町村	訪問診療実施件数						訪問歯科実施件数	
	一般診療所		病院		合計		居宅	施設
	件数	割合	件数	割合	件数	割合		
八尾市	3,740	86.2%	598	13.8%	4,338	100%	727	1,166
柏原市	525	100%	0	0%	525	100%	24	101
東大阪市	5,576	84.3%	1,042	15.7%	6,618	100%	1,123	5,980
中河内	9,841	85.7%	1,640	14.3%	11,481	100%	1,874	7,247
大阪府	127,891	88.5%	16,557	11.5%	144,448	100%	18,212	95,249

図表 3-4-22 人口10万人対訪問診療実施件数【一般診療所】(令和2年9月)



出典 厚生労働省「在宅医療にかかる地域別データ集」
 ※「人口10万人対」算出に用いた人口は、大阪府総務部「大阪府の推計人口(令和4年10月1日現在)」

【訪問診療実施施設数】

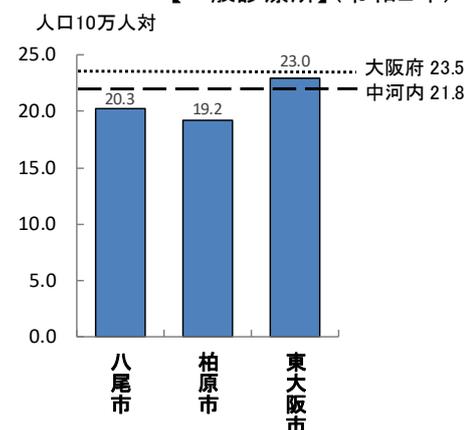
○令和2年10月1日現在、訪問診療実施施設数は、一般診療所が178施設（平成29年には164施設）、病院が11施設（同13施設）となっており、一般診療所では、人口10万人対でみると、大阪府平均を下回っています。

○一般診療所のうち訪問診療を実施する施設の割合は27.0%、病院のうち訪問診療を実施する施設の割合は31.4%となっています（出典 厚生労働省「在宅医療にかかる地域別データ集」）。

図表 3-4-23 訪問診療実施施設数(令和2年)

市町村	訪問診療実施施設数						訪問歯科実施施設	
	一般診療所		病院		合計		居宅	施設
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合		
八尾市	53	93.0%	4	7.0%	57	100%	33	23
柏原市	13	100%	0	0%	13	100%	6	7
東大阪市	112	94.1%	7	5.9%	119	100%	72	65
中河内	178	94.2%	11	5.8%	189	100%	111	95
大阪府	2,068	91.5%	193	8.5%	2,261	100%	1,070	1,023

図表 3-4-24 人口10万人対訪問診療実施施設数【一般診療所】(令和2年)



出典 厚生労働省「在宅医療にかかる地域別データ集」
 ※「人口10万人対」算出に用いた人口は、大阪府総務部「大阪府の推計人口(令和4年10月1日現在)」

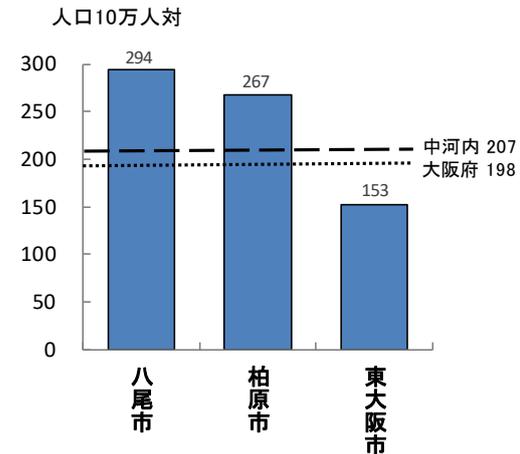
【往診実施件数】

○令和2年9月の1か月間における往診実施件数は、一般診療所が1,695件（平成29年には1,768件）、病院が176件（同162件）となっており、一般診療所では、人口10万人対でみると、大阪府平均を上回っています。

図表 3-4-25 往診実施件数（令和2年9月）

市町村	一般診療所		病院		合計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
八尾市	768	89.1%	94	10.9%	862	100%
柏原市	181	100%	0	0%	181	100%
東大阪市	746	90.1%	82	9.9%	828	100%
中河内	1,695	90.6%	176	9.4%	1,871	100%
大阪府	17,416	94.4%	1,026	5.6%	18,442	100%

図表 3-4-26 人口10万人対往診実施件数【一般診療所】(令和2年9月)



出典 厚生労働省「在宅医療にかかる地域別データ集」
 ※「人口10万人対」算出に用いた人口は、大阪府総務部「大阪府の推計人口(令和4年10月1日現在)」

【往診実施施設数】

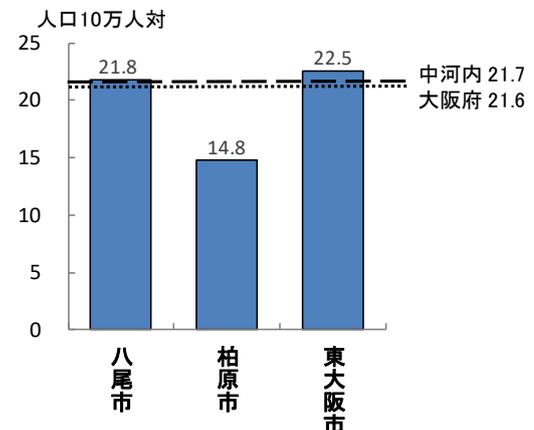
○令和2年10月1日現在、往診実施施設数は、一般診療所が177施設（平成29年には189施設）、病院が9施設（同8施設）となっており、一般診療所では、人口10万人対でみると、大阪府平均を上回っています。

○一般診療所のうち往診を実施する施設の割合は26.9%、病院のうち往診を実施する施設の割合は25.7%となっています（出典 厚生労働省「在宅医療にかかる地域別データ集」）。

図表 3-4-27 往診実施施設数(令和2年)

市町村	一般診療所		病院		合計	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
八尾市	57	90.5%	6	9.5%	63	100%
柏原市	10	100%	0	0%	10	100%
東大阪市	110	97.3%	3	2.7%	113	100%
中河内	177	95.2%	9	4.8%	186	100%
大阪府	1,901	94.8%	104	5.2%	2,005	100%

図表 3-4-28 人口10万人対往診実施施設数【一般診療所】(令和2年)



出典 厚生労働省「在宅医療にかかる地域別データ集」
 ※「人口10万人対」算出に用いた人口は、大阪府総務部「大阪府の推計人口(令和4年10月1日現在)」

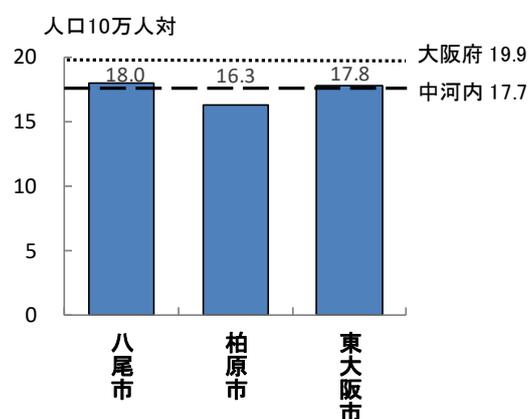
【在宅療養支援診療所数】

○令和5年4月1日現在、在宅療養支援診療所数は、145施設（平成29年には162施設）となっており、人口10万人対でみると大阪府平均を下回っています。

図表 3-4-29 在宅療養支援診療所数
（令和5年）

市町村	施設数
八尾市	47
柏原市	11
東大阪市	87
中河内	145
大阪府	1,752

図表 3-4-30 人口10万人対在宅療養支援診療所数
（令和5年）



出典 近畿厚生局「施設基準の届出受理状況(全体)」
※「人口10万人対」算出に用いた人口は、大阪府総務部
「大阪府の推計人口(令和4年10月1日現在)」

（2）在宅医療におけるグループ診療に関する状況

【グループ診療^{注1}の実施状況】

○令和5年7月1日現在、グループ診療を実施している一般診療所は0%（令和元年には0%）となっています（出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のための実態調査」）。

【グループ診療の円滑な実施に必要な事項】

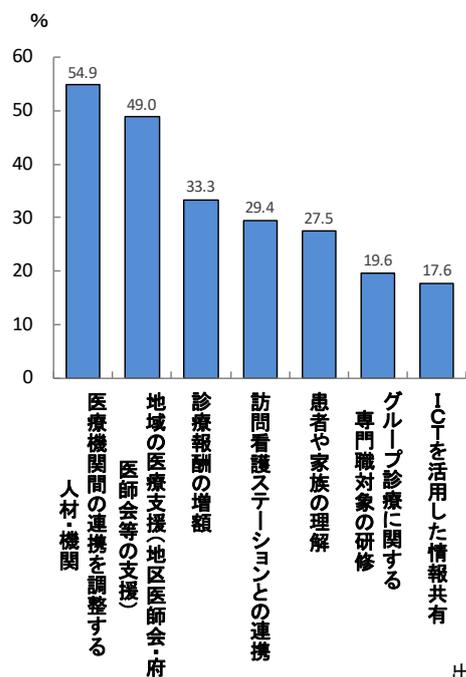
○令和5年現在、グループ診療の円滑な実施に必要な事項について、一般診療所では、「医療機関間の連携を調整する人材・機関」が最も多く、次いで「地域の医療支援（地区医師会・府医師会等の支援）」の順に多くなっています。

注1 グループ診療：「24時間365日の緊急時や看取りに対応するため、1人の在宅療養者を複数の医師が連携して診療すること」と定義しています。

図表 3-4-31 グループ診療の円滑な実施に必要な事項(令和5年)

グループ診療の円滑な実施に必要な事項	一般診療所			病院		
	施設数	調査回答施設合計	割合	施設数	調査回答施設合計	割合
医療機関間の連携を調整する人材・機関	28	51	54.9%	7	16	43.8%
地域の医療支援(地区医師会・府医師会等の支援)	25	51	49.0%	6	16	37.5%
診療報酬の増額	17	51	33.3%	2	16	12.5%
訪問看護ステーションとの連携	15	51	29.4%	6	16	37.5%
患者や家族の理解	14	51	27.5%	3	16	18.8%
グループ診療に関する専門職対象の研修	10	51	19.6%	2	16	12.5%
ICTを活用した情報共有	9	51	17.6%	7	16	43.8%

図表 3-4-32 グループ診療の円滑な実施に必要な事項【一般診療所】(令和5年)



出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のための実態調査」

4. その他（公衆衛生活動等）

（1）公衆衛生活動（産業医、学校医、予防接種等）の実施状況

【産業医の出務有無】

○令和4年7月1日から令和5年6月30日の1年間に、一般診療所で産業医の出務経験のある医師は9.3%（平成30年8月1日から令和元年7月31日の1年間には18.5%）となっています（出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のための実態調査」）。

【学校医の出務有無】

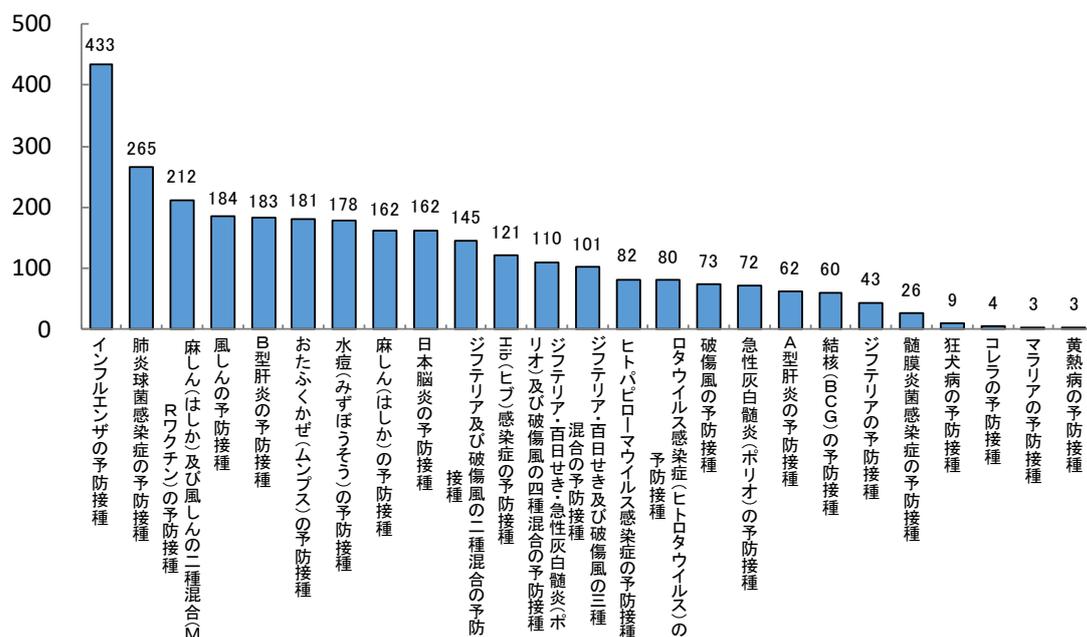
○令和4年7月1日から令和5年6月30日の1年間に、一般診療所で学校医の出務経験のある医師は43.2%（平成30年8月1日から令和元年7月31日の1年間には39.3%）となっています（出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のための実態調査」）。

【予防接種実施医療機関数】

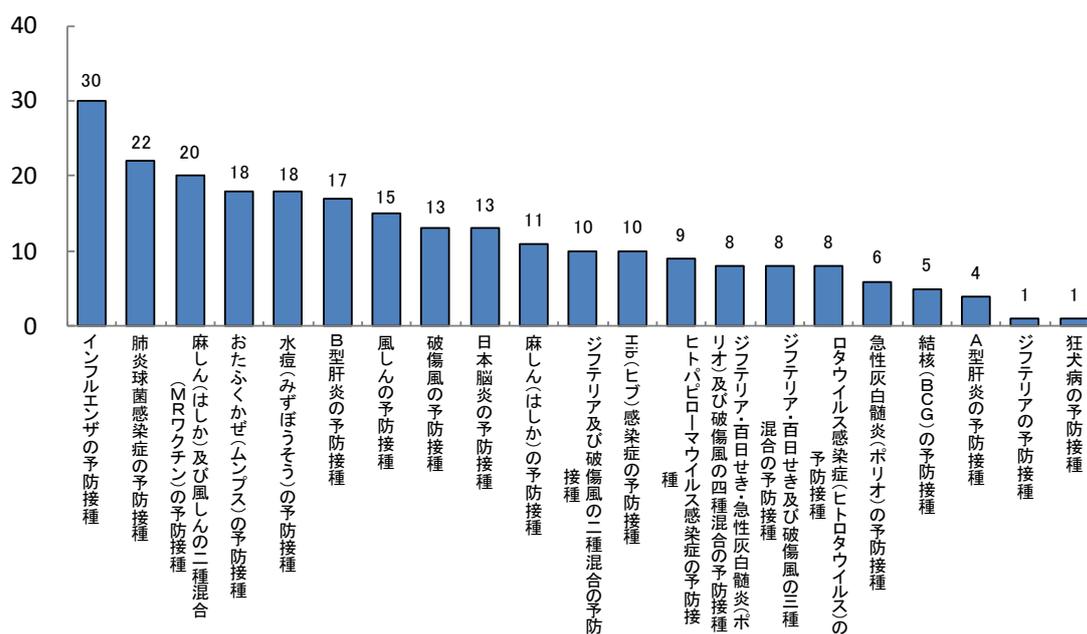
○令和5年7月1日現在、一般診療所において、ワクチン別に見ると最も多く予防接種が行われているのが「インフルエンザ」433施設、次いで「肺炎球菌感染症」265施設、次いで「麻疹（はしか）及び風しんの二種混合」212施設となっています。

○病院において、ワクチン別に見ると最も多く予防接種が行われているのが「インフルエンザ」30施設、次いで「肺炎球菌感染症」22施設、次いで「麻疹（はしか）及び風しんの二種混合」20施設となっています。

図表 3-4-33 予防接種実施医療機関数【一般診療所】(令和5年)



図表 3-4-34 予防接種実施医療機関数【病院】(令和5年)



出典 大阪府「医療機関情報システム」

5. 医療機器

(1) 医療機器の実態

【医療機器の保有医療機関数】

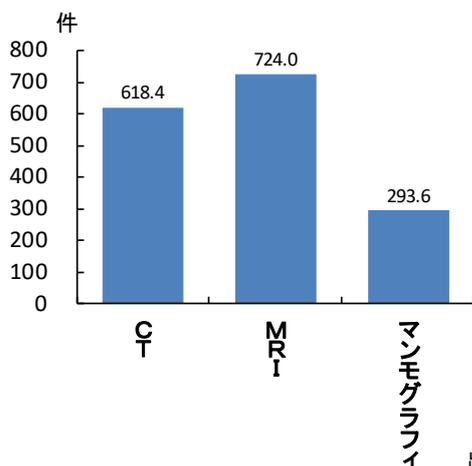
○令和5年7月1日現在、一般診療所における医療機器の保有割合は、CTは3.9%（令和元年には1.6%）、MRIは1.1%（同1.0%）、PETは0%（同0%）、マンモグラフィは1.6%（同3.9%）、放射線治療機器（リニアック及びガンマナイフ）は0%となっています（出典 大阪府「医療機関情報システム」）。

○病院における医療機器の保有割合は、CTは91.4%（令和元年には80.0%）、MRIは65.7%（同62.9%）、PETは5.7%（同8.6%）、マンモグラフィは37.1%（同37.1%）、放射線治療機器（リニアック及びガンマナイフ）は14.3%となっています（出典 大阪府「医療機関情報システム」）。

【医療機器の稼働率(医療機器1台当たりの検査件数)】

○令和元年度における、一般診療所での医療機器1台当たりの検査件数は、CTで618.4件（平成29年度には689.2件）、MRIで724.0件（同686.4件）、マンモグラフィで293.6件（同106.9件）となっています。

図表 3-4-35 医療機器1台当たりの検査件数【一般診療所】(令和元年)

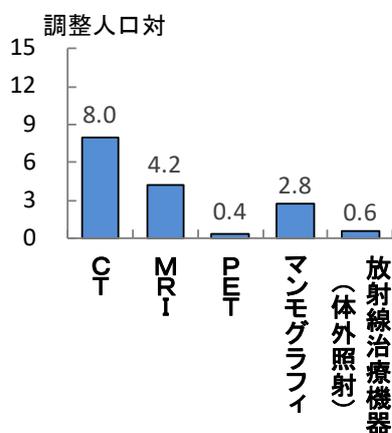


出典 厚生労働省「医療機器の調整人口あたり台数に係るに係るデータ集・グラフ」

【調整人口当たりの医療機器保有台数^{注1}】

○令和2年の調整人口当たりの医療機器の保有台数は、CTが8.0と最も高くなっています。

図表 3-4-36 調整人口当たりの医療機器保有台数(令和2年)



出典 厚生労働省「医療機器の調整人口あたり台数に係るに係るデータ集・グラフ」

(2) 医療機器の共同利用のあり方について

【保有している医療機器の中で他の医療機関と共同利用を行っているもの】

○令和5年7月1日現在、保有する医療機器の共同利用を行っている病院の割合は、CTで14.3%（令和元年には25.0%）、MRIで18.2%（同40.0%）、PETで0%（同0%）、マンモグラフィで14.3%（同66.7%）、放射線治療機器（リニアック及びガンマナイフ）で25.0%となっています。

図表 3-4-37 共同利用を行っている医療機器(令和5年)

医療機器	一般診療所					病院				
	共同利用を行っている		共同利用を行っていない		調査回答施設合計	共同利用を行っている		共同利用を行っていない		調査回答施設合計
	施設数	割合	施設数	割合		施設数	割合	施設数	割合	
CT	0	0%	6	100%	6	2	14.3%	12	85.7%	14
MRI	0	0%	1	100%	1	2	18.2%	9	81.8%	11
PET	0	-	0	-	0	0	0%	2	100%	2
マンモグラフィ	0	-	0	-	0	1	14.3%	6	85.7%	7
放射線治療機器 (リニアック及びガンマナイフ)	0	-	0	-	0	1	25.0%	3	75.0%	4

出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のための実態調査」

注1 調整人口当たりの医療機器保有台数：「地域の医療機器の台数/地域の人口（10万当たり）/地域の標準化検査率」と定義しています。

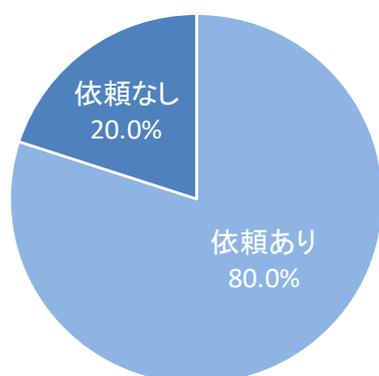
【医療機器の共同利用加算の算定有無】

○令和5年7月1日現在、医療機器の共同利用管理加算を算定している病院の割合は、7.1%（令和元年には11.1%）となっています（出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のための実態調査」）。

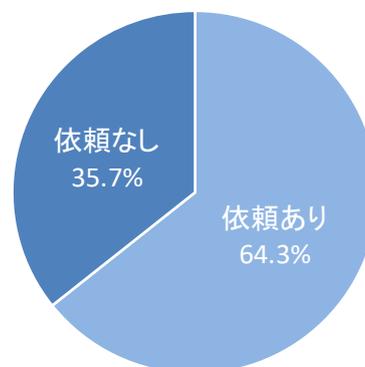
【他の医療機関への画像検査依頼の有無】

○令和5年7月1日現在、他の医療機関へ画像検査依頼をしたことがある医療機関の割合は、一般診療所で80.0%、病院で64.3%（令和元年には78.1%、72.2%）となっています。

図表 3-4-38 他の医療機関への画像検査依頼の有無【一般診療所】(令和5年)



図表 3-4-39 他の医療機関への画像検査依頼の有無【病院】(令和5年)



出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のための実態調査」

【自院に検査機器がない場合の対応】

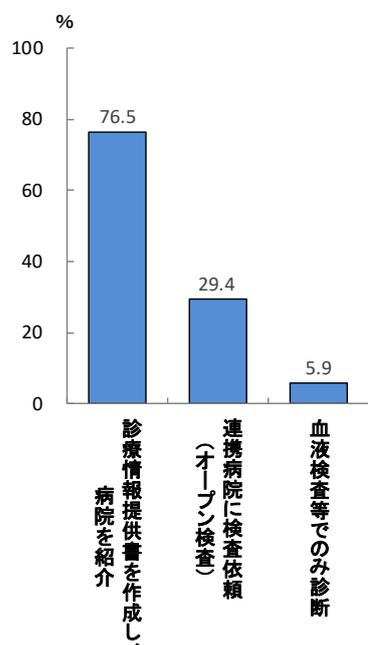
○令和5年7月1日現在、医療機関における自院に検査機器がない場合の対応は、診療情報提供書を作成し病院を紹介する医療機関が、一般診療所で76.5%、病院で81.3%（令和元年には81.8%、83.3%）、連携している病院に検査を依頼（オープン検査）する医療機関が一般診療所で29.4%、病院で31.3%（同51.5%、33.3%）、血液検査等でのみ診断する医療機関が、一般診療所で5.9%、病院で0%（同15.2%、0%）となっています。

図表 3-4-40 自院に検査機能がない場合の対応【一般診療所】(令和5年)

自院に検査機器がない場合の対応	一般診療所			病院		
	施設数	調査回答施設合計	割合	施設数	調査回答施設合計	割合
診療情報提供書を作成し、病院を紹介	39	51	76.5%	13	16	81.3%
連携病院に検査依頼（オープン検査）	15	51	29.4%	5	16	31.3%
血液検査等でのみ診断	3	51	5.9%	0	16	0%

出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のための実態調査」

図表 3-4-41 自院に検査機能がない場合の対応【一般診療所】(令和5年)



出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のための実態調査」

【医療機器別共同利用希望医療機関の割合】

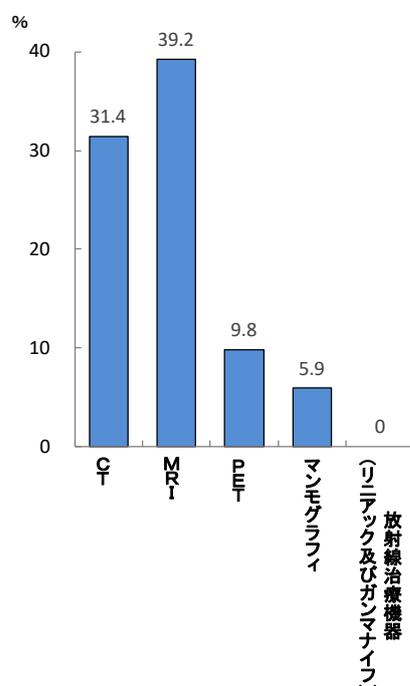
○令和5年7月1日現在、他の医療機関における医療機器の共同利用を希望する一般診療所の割合は、CTでは31.4%（令和元年には24.2%）、MRIでは39.2%（同24.2%）、PETでは9.8%（同12.1%）、マンモグラフィでは5.9%（同6.1%）、放射線治療機器（リニアック及びガンマナイフ）では0%となっています。

○他の医療機関における医療機器の共同利用を希望する病院の割合は、CTでは0%（令和元年には0%）、MRIでは12.5%（同0%）、PETでは18.8%（同11.1%）、マンモグラフィで0%（同0%）、放射線治療機器（リニアック及びガンマナイフ）では12.5%となっています。

図表 3-4-42 医療機器別共同利用希望医療機関の割合(令和5年)

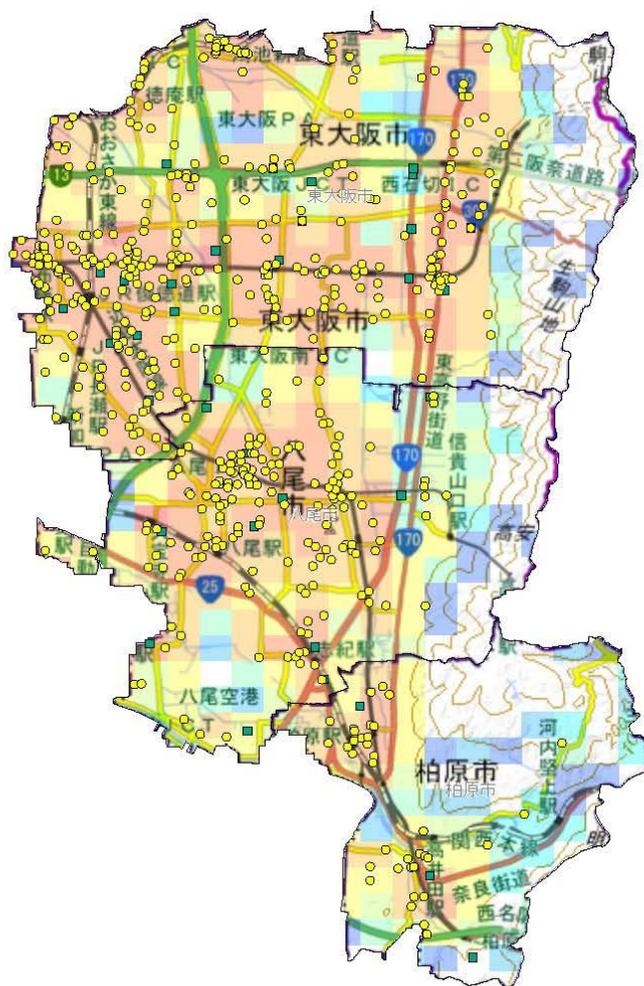
医療機器	一般診療所			病院		
	施設数	調査回答 施設合計	割合	施設数	調査回答 施設合計	割合
CT	16	51	31.4%	0	16	0%
MRI	20	51	39.2%	2	16	12.5%
PET	5	51	9.8%	3	16	18.8%
マンモグラフィ	3	51	5.9%	0	16	0%
放射線治療機器 (リニアック及びガンマナイフ)	0	51	0%	2	16	12.5%

図表 3-4-43 医療機器別共同利用希望医療機関の割合【一般診療所】(令和5年)

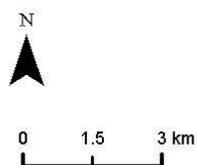


出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のための実態調査」

医療機関(病院/一般診療所)の所在地マップ

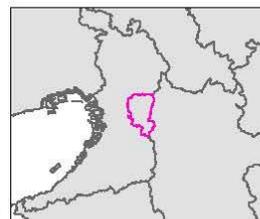


大阪府
2704
中河内



※背景地図:地理院スタイル

- | | |
|------------|----------------|
| ◎ 都道府県庁所在地 | ■ 医療施設 (病院) |
| — 鉄道 (新幹線) | ● 医療施設 (一般診療所) |
| — 鉄道 (JR) | |
| — その他鉄道 | |
| — 高速道路 | |
| — 国道 | |
| — 都道府県道 | |
- 令和2年国勢調査
人口マッシュ(人)
-

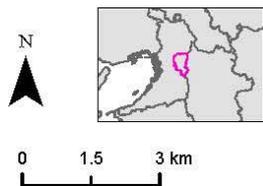


出典 厚生労働省「外来医療に係る医療提供体制の確保に関するガイドライン～第8次(前期)～」

医療機器保有医療機関の所在地マップ



大阪府
2704
中河内



※背景地図:地理院スタイル

- | | | |
|---|--|---|
| <p>◎ 都道府県庁所在地</p> <p>— 鉄道 (新幹線)</p> <p>— 鉄道 (JR)</p> <p>— その他鉄道</p> <p>— 高速道路</p> <p>— 国道</p> <p>— 都道府県道</p> <p>令和2年国勢調査人口マップ(人)</p> <p>0 50 100 200 500 1000 2000 5000 10000</p> | <p>CT</p> <p>c1 c1 マルチスライスCT64列以上</p> <p>c2 c2 マルチスライスCT16列以上64列未満</p> <p>c3 c3 マルチスライスCT16列未満</p> <p>c4 c4 その他のCT</p> <p>放射線治療機器</p> <p>gk gk ガンマナイフ</p> <p>ck ck サイバーナイフ</p> <p>im im 強度変調放射線治療器</p> <p>ss ss 遠隔操作式密封小線源治療装置</p> <p>v v 血管連続撮影装置</p> | <p>MRI</p> <p>m1 m1 MRI3テスラ以上</p> <p>m2 m2 MRI1.5テスラ以上3テスラ未満</p> <p>m3 m3 MRI1.5テスラ未満</p> <p>核医学検査</p> <p>s s SPECT</p> <p>p p PET</p> <p>pc pc PETCT</p> <p>pm pm PETMRI</p> <p>e e 内視鏡手術用支援機器 (ダウインチ)</p> <p>■ 病院 ○ 一般診療所</p> |
|---|--|---|

出典 厚生労働省「外来医療に係る医療提供体制の確保に関するガイドライン～第8次(前期)～」